

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
高橋正
印刷所
(株)東北プリント



宮城県総合畜産共進会【肉用牛の部】(令和4年7月8~9日 美里町みやぎ総合家畜市場)
写真:(上)団体賞 大崎地域 (下)共進会審査の様子

もくじ

CONTENTS

令和4年度畜産振興事業について.....	2-3	農業大生校生の抱負.....	10
令和4年度宮城県畜産協会事業の概要について.....	4-5	畜試便り.....	11
仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始47周年記念枝肉共進会の受賞結果について.....	6	衛生便り.....	12
令和4年度宮城県総合畜産共進会(肉用牛の部)盛会裡に終了.....	7	価格安定対策事業の発動状況について.....	12
第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会種牛の部及び高校特別区の代表牛が決定しました.....	8-9		
令和5年度宮城県農業大学校入校生を募集(推薦入校試験).....	10		



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



令和4年度畜産業振興事業について

宮城県農政部畜産課

畜産業振興事業は、「独立行政法人農畜産業振興機構法」に基づき、畜産振興について多岐にわたる事業を農畜産業振興機構が実施しているものです。

機構から補助を受けるのは、公募により選ばれた全国団体がほとんどですが、県域団体を通じて農協や畜産経営者も間接的に補助を受けることが可能です。

今年度拡充された3事業について紹介します。

1. 今年度拡充された事業

事業名	事業目的	事業内容																																
酪農経営支援総合対策事業（拡充） 4,566百万円	我が国の酪農は、高齢化等により酪農家戸数が減少しており、中長期的な生産基盤の強化が重要となっている。このため、生産者集団等が行う地域の創意工夫を生かした取組を支援し、担い手や乳用後継牛を確保していくとともに、経営の持続性の向上を図り、地域の実情に応じた酪農生産基盤の維持・強化を図る。 補助率（定額、2/3、1/2、1/3以内）	<p>(1) 中小酪農経営等の生産基盤維持・強化 後継牛の育成等のための簡易畜舎整備、機器導入、つなぎ牛舎の改良、育成牛の事故率低減（ワクチン1千円/頭）、供用期間の延長支援（肢蹄保護、乳房炎ワクチン等、1千円/頭）、後継者への経営基盤強化（初妊牛導入5万円/頭）、<u>暑熱ストレスの軽減</u>、<u>暑熱等による飼料作物の不作から不足する飼料への支援（代替飼料の共同購入5円/kg）</u>、乳用牛の地域内継承・育成牛の地域内流通促進（奨励金3万2千円/頭）、増頭に必要な牛舎の空きスペースの簡易な整備、都府県の自家育成中小農家の生産基盤強化（自家生産子牛増頭5万円/頭）等の取組を支援する。</p> <p>(2) 地域の生産体制の強化 生産基盤が脆弱な地域において持続的な生乳生産体制を確保するため、(ア) 経営離脱農家等を研修施設として活用した担い手の確保、(イ) 将来にわたって持続可能な経営体の創出、(ウ) 後継牛の地域内生産、(エ) 後継牛育成のための広域預託を推進する取組等を支援する。</p> <p>(3) 酪農ヘルパーの利用拡大 ①酪農ヘルパーの職業認知度向上、修学支援、学生インターンシップの受入、人材コンサルタントの活用、就業前後の研修や外国人材の活用等の人材確保・育成、②傷病時等の利用料金を軽減するための互助基金制度及び③広域利用調整、酪農ヘルパーの待遇改善（最大3万円/月・人、<u>最長24か月</u>）や利用組合の経営改善等の利用組合強化の取組を支援する。</p> <p>(4) 生乳流通体制の合理化の推進 生乳流通コストの生産者負担を軽減するため、生乳生産者団体等が行う「生乳流通合理化計画」等の検討・作成、生乳流通関係機器のリース導入、貯乳施設の減容化・需給調整機能を持たせるために必要な補修、乳代精算方法の効率化等の取組を支援する。</p> <p>(5) 生乳需要基盤の確保の推進 国産牛乳製品の消費の維持・定着を図るため、消費者等への酪農理解醸成活動、牛乳製品の新たな利用場面の普及や価値訴求、生産者自らが製造する牛乳製品の需要拡大のための技術研修や販路拡大等の取組を推進する。</p> <p>(6) 乳用牛の計画的な改良・増殖の推進 牛群検定組合等が行う遺伝情報（SNP）データの収集等の取組、乳用牛の飼養管理に係る技術指導等を支援する。</p>																																
畜産特別支援資金融通事業（拡充） 911百万円	負債の償還に支障を来している経営や家畜伝染病発生により深刻な影響を受けた経営に対する低利資金の円滑な融通を支援する。また、多額の資金を必要とする畜産経営の円滑な資金調達に資するために、動産担保融資が広く利用できる環境整備を支援する。 補助率（定額、1/2以内）	<p>(1) 畜産特別資金（大家畜・養豚特別支援資金） 負債の償還が困難な畜産経営に対し、長期・低利の借換資金を融通する融資機関へ利子補給を行うとともに、経営改善指導及び債務保証に対する支援を行う。 ・貸付条件（利率は令和3年11月18日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">経営改善資金</th> <th rowspan="2">経営継承資金</th> </tr> <tr> <th>一般</th> <th>特認</th> <th>残高借換</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">償還期限</td> <td>大家畜</td> <td>15年以内</td> <td></td> <td>25年以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>養豚</td> <td>7年以内</td> <td></td> <td>15年以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち据置期間</td> <td>3年以内</td> <td></td> <td>5年以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">貸付利率</td> <td colspan="3">0.30%以内</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注：経営改善資金で残高借換を行うことができるのは令和4年度のみ。 ・融資枠（平成30～令和4年度）500億円（大家畜450億円、養豚50億円） ・融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等</p>			経営改善資金			経営継承資金	一般	特認	残高借換	償還期限	大家畜	15年以内		25年以内		養豚	7年以内		15年以内			うち据置期間	3年以内		5年以内		貸付利率		0.30%以内			
		経営改善資金			経営継承資金																													
		一般	特認	残高借換																														
償還期限	大家畜	15年以内		25年以内																														
	養豚	7年以内		15年以内																														
	うち据置期間	3年以内		5年以内																														
貸付利率		0.30%以内																																

事業名	事業目的	事業内容																				
		<p>(2) 家畜疾病経営維持資金 口蹄疫等の家畜伝染病発生に伴う経営の停止、畜産物等の単価の下落や売上の減少等により深刻な影響を受けた畜産経営に対し、経営再開等に必要な低利資金を融通する融資機関へ利子補給を行う。 ・貸付条件（利率は令和3年11月18日現在）</p> <table border="1" data-bbox="687 421 1436 611"> <thead> <tr> <th></th> <th>経営再開資金</th> <th>経営継続資金</th> <th>経営維持資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付限度額</td> <td>個人:2,000万円 法人:8,000万円</td> <td colspan="2">(1頭当たり、100羽当たり) 乳用牛13万円、肥育牛13万円、繁殖用雌牛6.5万円、肥育豚1.3万円、繁殖豚2.6万円、家きん5.2万円、繁殖用めん羊及び山羊1.3万円</td> </tr> <tr> <td>償還期限</td> <td colspan="3">7年以内</td> </tr> <tr> <td>うち据置期間</td> <td colspan="3">3年以内</td> </tr> <tr> <td>貸付利率</td> <td colspan="3">0.80%以内</td> </tr> </tbody> </table> <p>・融資枠（令和4～令和8年度）50億円 ・融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等</p> <p>(3) 畜産動産担保融資活用支援事業 地域、経営規模又は畜種に関わらず、必要に応じて畜産動産担保融資が広く利用できる環境整備を進めるため、畜産動産担保融資の事例蓄積を継続するとともに、家畜の一般担保化へ向けた課題検討を行い、検討結果を広く融資機関に周知する。 ・事業実施期間 令和2～4年度</p>		経営再開資金	経営継続資金	経営維持資金	貸付限度額	個人:2,000万円 法人:8,000万円	(1頭当たり、100羽当たり) 乳用牛13万円、肥育牛13万円、繁殖用雌牛6.5万円、肥育豚1.3万円、繁殖豚2.6万円、家きん5.2万円、繁殖用めん羊及び山羊1.3万円		償還期限	7年以内			うち据置期間	3年以内			貸付利率	0.80%以内		
	経営再開資金	経営継続資金	経営維持資金																			
貸付限度額	個人:2,000万円 法人:8,000万円	(1頭当たり、100羽当たり) 乳用牛13万円、肥育牛13万円、繁殖用雌牛6.5万円、肥育豚1.3万円、繁殖豚2.6万円、家きん5.2万円、繁殖用めん羊及び山羊1.3万円																				
償還期限	7年以内																					
うち据置期間	3年以内																					
貸付利率	0.80%以内																					
<p>家畜防疫互助基金支援事業（拡充） 5.511百万円</p>	<p>家畜の伝染病のうち、口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚熱、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザについては、伝播力が極めて強く、我が国の畜産経営に極めて重要な影響を及ぼす。平成30年9月に我が国では26年ぶりとなる豚熱の発生が確認され、令和3年度においても発生が続いている。また、平成30年8月には、中国においてアジアで初となるアフリカ豚熱の発生が確認され、その後、アジア各国へ発生が拡大している中、中国から旅客の携帯品として不法に持ち込まれた畜産物からアフリカ豚熱ウイルスの遺伝子が検出される事例も複数確認されている。さらに、高病原性鳥インフルエンザについては、直近では令和2年度に我が国で発生したほか、令和3年度においても発生が確認されている。</p> <p>このため、これらの伝染病の発生予防に向けて、基金加入農家に対する衛生指導を支援する。また、万一、これらの伝染病が発生した場合に備え、経営再開までに必要な経費等を相互に支援するため、生産者が自ら基金を造成するとともに、伝染病発生時に本基金からの交付とALICからの交付を合わせた互助金を交付することにより、より一層の防疫措置の円滑化及び異常発見時の早期の届出を促し、もって畜産の安定的な発展を図る。</p>	<p>口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚熱、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに係る互助事業の普及・指導、互助基金の造成、発生時の互助金の交付及び基金加入農家に対する衛生指導等を行う。</p>																				

※1 令和4年度畜産振興事業の概要 https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_001953.html
 農林水産省HP https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/211224-8.pdf
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/211224-6.pdf

※2 下線部は令和3年度から拡充、変更されたもの

令和4年度宮城県畜産協会事業の概要について

一般社団法人宮城県畜産協会

日頃より本会の事業推進に多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のまん延による畜産物の消費の落ち込みや、飼料価格の高騰、豚熱の発生等、畜産業界にも多くの諸問題が山積しております。

本会としましては、「ポスト・コロナ時代」の国内農畜産業を維持・発展させていくため、国や県・関係団体等と連携し、肉用牛の増頭対策をはじめとする畜産経営基盤の体質強化を図るための諸事業、新型コロナウイルス感染症及び災害対策等の各種緊急支援事業、及び生産性の高い畜産経営体に対する経営支援指導、価格安定対策、家畜衛生対策、家畜改良対策並びに消費拡大対策等、以下の事業に取り組み、畜産経営の安定及び本県畜産の振興と継続的發展に努めますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

I 畜産経営支援対策事業

1. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成強化を図るため、畜産経営診断の支援、畜産経営情報のデータベース化、畜産経営セミナー・研修会等の諸事業を実施し、経営実態に即した総合的な支援指導を実施します。

2. 畜産特別資金等推進指導事業

大家畜・養豚特別支援資金借受者の経営改善のため、支援協議会の開催、経営改善計画の作成・見直し等の指導を実施します。

3. 肉用牛経営安定対策補完事業(地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業)

肉用牛生産基盤の強化を図るため、繁殖雌牛の増頭、優良繁殖雌牛の導入、簡易畜舎等の整備を行う生産集団及び肉用牛ヘルパー組織に対して補助し、肉用牛の振興発展に寄与します。

4. 生産基盤拡大加速化事業(肉用牛)

牛肉の国内需要の増加と輸出拡大に対応するため、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した生産者に対して補助金を交付するため、農協等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施し、肉用牛の振興発展に寄与します。

5. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)に係る事業推進業務

畜産クラスター事業の機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産クラスター協議会等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

6. 畜産・酪農生産力強化対策事業(家畜生産性向上対策)

家畜の生産性向上に係るデータ等の収集、分析及び技術指導を実施し、家畜の生産性向上を図ります。

7. 畜産経営体生産性向上対策事業に係る事業推進業務

酪農家や肉用牛農家の省力化・生産性向上に資するICT関連機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

8. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)に係る事業推進業務

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(通称:楽酪GO事業)の省力化機械導入事業及び施設整備事業の円滑な推進を図るため、楽酪応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

II 家畜衛生対策事業

1. 特定疾病自衛防疫事業推進事業

(1) 各予防接種

伝染性疾病に対する予防接種を実施し、疾病発生による損耗防止に努めます。

(2) 自衛防疫推進事業

自衛防疫事業を円滑に推進するため、自衛防疫推進会議等を開催し、家畜衛生に関する知識の普及や情報の収集・伝達に努めます。

2. 家畜生産農場衛生対策事業

生産農場における牛ヨーネ病の防疫対策、牛伝染性リンパ腫の清浄化対策、牛ウイルス性下痢症及び牛アカバネ病の発生・流行防止対策を推進し、これら疾病による家畜の損耗防止を図ります。

3. 牛疾病検査円滑化推進対策事業

牛海綿状脳症(BSE)を早期に根絶し、生産者や消費者の安心と信頼を回復するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、96ヵ月齢以上及び48ヵ月齢以上の起立不能等の死亡牛の検査を実施した所有者等に対し、適正な管理・輸送・処理に係る経費を補助し、BSE検査の円滑な推進に努めます。

また、県家畜防疫対策室、家畜保健衛生所、県域団体、死亡牛収集業者等で構成する宮城県死亡牛緊急処理円滑化施設整備事業推進協議会を開催し、死亡牛の円滑な収集及び処理のための取組と良好な家畜衛生並びに環境の維持を図ります。

4. 畜産物衛生環境整備円滑化事業

県内で発生する死亡家畜の処理を円滑かつ効率的に流通させるため、一時保管する冷却保管施設及び冷凍運搬車の利用について、死亡牛輸送業者3社及び関係者と協議し、家畜疾病のまん延等家畜衛生上の問題発生を未然に防止し、家畜飼養衛生環境の保全を図ります。

5. 家畜防疫・衛生指導対策事業

(1) 地域自衛防疫取組促進対策事業

地域での伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動、地域特定疾病対策等の検討を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施、農場立入関連技術者に対する異状家畜の早期発見に必要な研修を行い、生産現場における家畜防疫体制の強化を図ることにより、伝染性疾病の発生予防等防疫措置の徹底に努めます。

(2) 地域農場HACCP認証支援事業

県内における農場HACCP認証に取り組む農場に対し、専門家による構築指導を行い、地域における農場HACCP取組の中核となる農家を育成し、普及推進を図ります。

6. 育成馬予防接種推進事業

馬飼養形態の集団化、大規模化及び頻繁な移動等の実態を踏まえ、競馬場入厩前の育成馬について予防接種(馬インフルエンザ)の徹底を図ります。

7. 馬伝染性疫病防疫推進対策事業

競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザワクチン接種及び繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種を推進することにより生産段階の効率的な馬防疫措置を図ります。

8. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚熱等の海外伝染病が発生した場合、生産者が飼養する牛及び豚の淘汰に伴う損失を、生産者による自主的な互助制度により畜産経営への影響を緩和するため、各関係者と連携を図り、互助制度の普及啓蒙を図ります。

9. 獣医師養成確保修学資金給付事業

獣医学を専攻する学生のうち産業動物獣医師を志す者に対し、獣医師養成確保修学資金を給し有能な産業動物獣医師の養成及び確保を図り、宮城県産業動物の診療体制の整備と畜産振興に寄与します。

Ⅲ 家畜価格安定対策事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用牛生産の存立を確保するため、肉用子牛の生産者に対して、子牛の再生産を確保するため一定の条件の下、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産経営の安定を図ります。

2. 肉用牛肥育安定基金

生産者により「肥育安定基金」を造成し、毎月の肥育牛1頭当たりの粗収益が生産コストを下回った場合に差額の9割を補てんすることにより経営の安定と肉用牛生産基盤の維持拡大に寄与します。

3. 肉豚経営安定交付金制度

制度の円滑な実施を図るため、登録生産者との委託契約に基づき、書類申請及び保管等に関する助言指導を行います。

4. 肉牛事故共助推進事業

全農宮城県本部が販売する肉畜に発生する事故に対し、その損害を補償し肉牛事業の安定を図ります。

Ⅳ 家畜改良事業

1. 宮城県総合畜産共進会の開催

家畜の改良増殖と飼養管理技術の向上を図るため、乳用牛、肉用牛、養豚(枝肉)を対象とした総合畜産共進会を開催します。

2. 家畜人工授精用精液流通調整事業

本県の家畜改良を円滑に推進し、優れた能力をもった種雄牛の造成、商品性の高い乳牛・肉牛の生産を拡大するため、県内7カ所にサブセンターを設け、優良種雄牛を主体とした凍結精液の供給と液体窒素の配送を行うとともに、適正使用、計画交配を指導し、家畜改良に係る関連事業の推進と畜産経営の安定と発展に寄与します。

(総務課 山崎 哲)

仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始47周年記念枝肉共進会の受賞結果について

仙台市中央食肉卸売市場株式会社

仙台市中央卸売市場食肉市場において、7月6日（水）に仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始47周年記念事業協賛会主催の枝肉共進会が、肉牛250頭・肉豚300頭上場で開催され盛会裡に終了いたしました。関係者各位に改めて御礼申し上げます。

厳正な審査により入賞された方々を紹介いたします。

なお、所属団体、出品者名、枝肉重量、せり単価の順で記載いたします。

【第1部黒毛和種（去勢）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	J Aみやぎ登米（南方）	株川口ファーム	百合白清 2	安福久	572.5	5,010
最優秀賞	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 北村耕業(株)	茂晴花	諒太郎	577.0	3,301
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 本間初夫	茂福久	諒太郎	590.0	3,305
	仙台肉牛出荷組合	全畜連 (株)ライフルファーム菅生	福之姫	安福久	607.5	3,194
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム	勝早桜 5	美国桜	637.5	3,000
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 高橋 浩	喜亀忠	安福久	499.5	3,302
優秀賞	J A古川	株ushitake	聖香藤	美国桜	569.0	2,903
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 川村和弘	茂福久	諒太郎	622.0	3,201
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 川村和弘	茂福久	幸紀雄	695.5	3,201
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 高橋 浩	福之姫	隆之国	592.5	3,298
	宮城家畜商出荷組合	伊藤 豊 日下 誠	直太郎	安福久	612.5	2,999
	J Aみやぎ登米（米山）	千葉 正太郎	茂福久	安福久	623.5	3,159
	J Aみやぎ登米（豊里）	高橋 一郎	茂福久	華春福	541.0	2,902
	仙台肉牛出荷組合	全畜連（資）ばば農場	紀多福	美国桜	603.0	3,102
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 川村大樹	第1花園	安福久	655.5	3,004

【第2部黒毛和種（雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	J A古川	鈴木 久	百合芳	茂洋	525.5	5,009
最優秀賞	J A新みやぎ（栗駒中央）	佐々木吉司	春忠久	安福久	416.5	3,321
	J A古川	小高 栄	幸紀雄	安福久	470.0	3,464
優秀賞	J A新みやぎ（大郷）	村田雄喜	諒太郎	安福久	552.0	3,009
	J Aみやぎ登米（南方）	日下正之	福之姫	茂洋	562.0	2,802
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 伊藤修二	茂福久	幸紀雄	514.5	2,953
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 川村拓也	幸紀雄	美国桜	512.5	3,177

【第3部交雑種（去勢・雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統（父）	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	仙台肉牛出荷組合	(有)蔵王高原牧場	勝早桜 5	578.0	2,150
最優秀賞	仙台肉牛出荷組合	全畜連 (株)日高見牧場	勝美糸	571.5	1,710
優秀賞	仙台肉牛出荷組合	全畜連 (株)日高見牧場	愛之国	554.5	1,492

【第4部肉豚の部】

褒賞	所属団体	出品者名	品種	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	昭和畜肉研究会	(有)ケイアイファウム玉山農場	LWD	78.0	2,006
最優秀賞	太平洋ブリーディング(株)	ハイランド牧場小笠原農場	WLD	77.0	958
	太平洋ブリーディング(株)	ハイランド牧場小笠原農場	WLD	75.0	960
	J A新みやぎ（一迫）	千葉房義	LWD	75.0	956
優秀賞	全農宮城県本部	(有)三澤屋本店	LWD	74.5	856
	J A新みやぎ（志波姫）	(農法)しわひめスワイン	LWD	75.0	854
	一般	(有)コマクサファーム	LWD	77.5	852
	一般	(有)萱農場	WL	74.5	852
	中部飼料(株)	イセファーム東北(株)徳田農場	ハイブリッド	75.5	856
	丸山(株)	(農)蔵王ファーム本場	WLD	73.5	856

(営業部営業2課 落合 宏幸)

令和4年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）盛会裡に終了

一般社団法人宮城県畜産協会

農林水産祭参加 令和4年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）を、以下のとおり開催し、お蔭様をもちまして盛会裡に終了いたしました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、来場者を制限しての開催でしたが、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の宮城県最終選考会も兼ねての開催ということもあり、白熱した共進会となりました。

【開催期日】

7月8日～9日 みやぎ総合家畜市場（美里町）

【出品頭数】

単品36頭、群出品12組57頭、特別区（高校）4頭 合計97頭

なお、各部の上位受賞者（抜粋）は下記のとおりです。

【名誉賞】

農林水産大臣賞
宮城県知事賞

第6区（総合評価群）
栗原和牛育種組合

【名誉賞】

農林水産省畜産局長賞
宮城県議会議長賞

第3区（若雌の2）
308番 ぶらふまん号
大崎市田尻 後上 藤三 氏

【東北農政局長賞】

第2区（若雌の1）
207番 えりな号
登米市 小野寺 正人 氏

【団体賞】

大崎地域



第6区 栗原和牛育種組合



第3区 後上 藤三 氏

各区の最優秀賞1席

区	出品番号	名号	地区	出品者名
第1区	101	誠平勝	—	宮城県畜産試験場
第2区	207	えりな	登米	小野寺正人
第3区	308	ぶらふまん	大崎	後上 藤三
第4区	414～417	ゆりひろ、ふく、さいぜんれつ、かなのこ	登米	登米和牛育種組合
第5区	501～503	ゆりひめ、さくらひめ、ひめふく	大崎	みどりの和牛育種組合
第6区	619～624	こいのぼり、そめいよしの、ひろ、しげなみ、ひかる、ひろのぶ	栗原	栗原和牛育種組合
特別区	2	わさび	—	宮城県小牛田農林高等学校 (経営支援課 伊藤 利樹)

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会種牛の部及び高校特別区の代表牛が決定しました

宮城県農政部畜産課
(第12回全国和牛能力共進会宮城県出品対策協議会)

令和4年10月6日から10日に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会（以下「鹿児島大会」）の種牛の部の宮城県最終選考会を兼ねた、農林水産祭参加令和4年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）が3年ぶりに7月8日から9日にみやぎ総合家畜市場で開催されました。鹿児島大会の出品資格は、第4区繁殖雌牛群で「母系3代を辿り県内で生産されたもの」など、前回の宮城大会よりも厳しくなっていますが、各地域の選考会を勝ち抜いた、単品区36頭、群出品区12組57頭、特別区4校各1頭の合計97頭（重複含む）が県代表牛の座を競い合いました。

前回の宮城大会では、第2区（若雌の1）で悲願の優等賞1席「日本一」をはじめ、多くの優等賞や特別賞を獲得するなど過去最高の成績を収めました。鹿児島大会でも、宮城大会を上回る成績を目指し、生産者やJA担当者は牛体の手入れや調教など日々努力を積み重ねており、最終選考会ではその成果を遺憾なく発揮していました。さらに特別区では、高校生による出品牛の展示と全共に向けた取組内容の発表による代表校の選考が行われ、僅差の争いの中、鹿児島大会種牛の部の各出品区の県代表牛13頭と特別区の代表校1校が決定しました（表1）。

決定後の審査講評では、本県の代表牛の優れている点として発育、体の深さ、体の長さ、皮膚ゆとりが挙げられました。今後は集合指導会を開催し、万全の状態でご本番を迎えられるよう準備が進められます。

なお、第6区総合評価群肉牛群及び肉牛の部の代表牛は、令和4年8月24日（水）に決定します。

表1. 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会種牛の部及び高校特別区の宮城県代表牛

出品区分	父牛	名号	出品者・組合名
第1区（若雄） 15～23ヶ月齢未満	平勝美（宮城）	誠平勝 号	宮城県畜産試験場
第2区（若雌の1） 14～17ヶ月齢未満	茂福久	えりな 号	小野寺正人（登米市）
第3区（若雌の2） 17～20ヶ月齢未満	洋糸波	ぶらふまん 号	後上藤三（大崎市）
第4区（繁殖雌牛群） 3産以上の産歴	勝洋 好平茂 茂洋	ゆりひろ 号 さいぜんれつ 号 かなのこ 号	【登米和牛育種組合】 伊藤博幸（登米市） 小野寺正人（登米市） チバズファーム（株）（登米市）
第5区（高等登録群） 母、娘、孫娘群 14ヶ月齢以上	勝洋 勝早桜5 茂福久	ゆりひめ 号 さくらひめ 号 ひめふく 号	【みどりの和牛育種組合】 浜田政美（涌谷町） 浜田政美（涌谷町） 菅原正博（大崎市）
第6区（総合評価群） 種牛群 17～24ヶ月齢未満	洋糸波 洋糸波 洋糸波 洋糸波	そめいよしの 号 ひろ 号 しげなみ 号 ひろのぶ 号	【栗原和牛育種組合】 熊谷明俊（栗原市） 栗原幸昇（栗原市） 狩野幸夫（栗原市） 菅原良信（栗原市）
特別区 高校及び農業大学校 14～20ヶ月齢未満	洋糸波	わさび 号	宮城県小牛田農林高等学校 （美里町）



第1区 若雄 代表牛【誠平勝】



第2区 若雌の1 代表牛【えりな】



第3区 若雌の2 代表牛【ぶらふまん】



第4区 繁殖雌牛群 代表【登米和牛育種組合】



第5区 高等登録牛群 代表【みどりの和牛育種組合】



第6区 総合評価群 種牛群 代表【栗原和牛育種組合】



特別区 代表校【小牛田農林高校】

桃め 頂点へ!



仙台牛PRキャラクター
牛政宗くん

(生産振興班 渡邊 智)

〈畜試便り〉

第17回現場後代検定成績

宮城県畜産試験場

第17回現場後代検定が終了したので、その概要について報告します。

今回検定した候補牛は、第17回1次「稚洋」号、「百合乃神」号、2次「昭光茂」号、「花勝洋」号の4頭で、検定期間は1次の2頭を令和2年4月22日から令和4年2月20日、2次の2頭を令和2年6月24日から令和4年4月10日に実施しました。

「稚洋」号

父は「勝洋」(宮城県石巻市)、母の父は「勝忠平」(鹿児島県)、母の母の父は「第1花国」(青森県)で、生産地は大崎市岩出山(高橋克典氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量547.4kgで宮城県の歴代1位という優れた成績でしたが、BMSの育種価では父の「勝洋」を下回る成績でした。

「百合乃神」号

父は「百合茂」(鹿児島県)、母の父は「安福久」(栃木県)、母の母の父は「平茂勝」(鹿児島県)で、生産地は遠田郡美里町(伊勢繁氏)です。現場後代検定では、BMS No.8.7という優れた成績を残しましたが、枝肉重量が劣る点や、僧帽筋の薄さといった点が見られました。

「昭光茂」号

父は「好平茂」(宮城県登米市)、母の父は「百合茂」(鹿児島県)、母の母の父は「第1花国」(青森県)で、生産地は角田市(ばば農場)です。「好久勝」および「勝秀好」に続く、3頭目の好平茂の後継基幹種雄牛です。現場後代検定成績では、枝肉重量(543.3kg)は基幹種雄牛歴代1位、脂肪交雑(BMS No.9.6)は基幹種雄牛歴代2位という成績でした。

「花勝洋」号

父は「勝洋」(宮城県石巻市)、母の父は「花之国」(宮城県大崎市)、母の母の父は「百合茂」(鹿児島県)で、生産地は大崎市田尻(木村俊樹氏)です。現場後代検定成績では、BMS No.9.1という非常に優れた成績でしたが、皮下脂肪が3.9cmと厚く、歩留も低いという結果でした。

検定の結果、「昭光茂」号が新規基幹種雄牛として選抜されました。産肉能力の高さに加え子牛の体型にも優れており、肉用牛改良に活用することで、宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「仙台牛」の生産拡大の弾みとなります。家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

表1 和牛産肉能力現場後代検定

検定種雄牛 名号	性別	月齢	材料牛頭数	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値 (%)	BMS No.
稚洋	去	29.3	16	551.3	70.1	9.2	3.1	75.0	8.6
	雌	29.7	5	535.0	66.2	9.0	3.9	73.9	7.2
	計	29.4	21	547.4	69.1	9.2	3.2	74.8	8.3
百合乃神	去	29.5	14	526.4	64.1	8.6	3.0	74.3	8.4
	雌	29.6	6	489.0	72.0	8.5	2.9	75.7	9.3
	計	29.6	20	515.2	66.5	8.6	2.9	74.7	8.7
昭光茂	去	29.4	10	566.6	76.2	9.0	2.4	76.0	10.2
	雌	30.4	9	517.6	65.9	8.8	3.8	74.0	8.9
	計	29.9	19	543.3	71.3	8.9	3.1	75.1	9.6
花勝洋	去	29.6	11	558.9	67.5	9.1	3.7	74.0	9.3
	雌	29.7	8	489.8	67.3	9.0	4.1	74.4	8.8
	計	29.7	19	529.8	67.4	9.0	3.9	74.1	9.1
全国平均※		29.3	2,631	466.2	59.3	7.8			6.6

※令和3年3月までに出荷された広域後代検定雄牛の調査牛及び同期牛の平均値



図1 新規基幹種雄牛「昭光茂」

(酪農肉牛部 高木 理宏)

〈衛生便り〉

今シーズン（2021秋-2022春）の高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）発生の特徴について

仙台家畜保健衛生所

今シーズンは、昨シーズンに引き続きHPAIの発生が世界的に相次ぎ、特にヨーロッパにおける発生件数が著しく増加しました（表1）。国内では25件189万羽、県内でも令和4年3月に石巻市で発生しました。要因としては、夏にロシアで感染した渡り鳥が秋に各国へ渡り感染を拡げていると考えられます。

今シーズンの国内HPAI発生の特徴としては、留鳥（渡りをしない）であるカラスでの感染増加、エミューでの感染、発生時期の延長の3点が挙げられます。国内野鳥の陽性事例107例中58例がカラスから検出され、特に北海道で多く報告されました。エミューでは北海道で国内初感染が確認され、計3例が報告されました。また、発生時期は例年、3月頃が最終発生であったのに対し、今シーズン（2021秋-2022春）は5月14日とゴールデンウィーク明けまで発生がありました。

以上のことから、今後の発生防止のためには、留鳥もウイルスを媒介し、農場周辺を汚染している可能性を考慮しつつ、飼養衛生管理基準の遵守を徹底することが必要です。特にカラス等の野鳥や野生動物等の侵入防止と手指・長靴・車両消毒の継続を徹底して農場内へのウイルス侵入防止に努めましょう。なお、死亡率の増加など、家きんに異常が認められた場合は、最寄りの家畜保健衛生所や畜産振興部に速やかにご連絡ください。

(病性鑑定班 大関 貴大)

(表1) 今シーズンにおける主なヨーロッパ諸国と日本のHPAI発生件数

Table with 3 columns: 発生国, 家きん(件), 野鳥(件). Rows include France, UK, Italy, Hungary, Spain, Ireland, Poland, Germany, and Japan.

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）の交付金単価

(単位：円)

Table with 4 columns: 販売月, 肉専用種(宮城県), 交雑種(全国), 乳用種(全国). Rows for April and May.

※令和3年7月以降の概算払いは、配合飼料価格安定制度の発動状況を加味し、算定額から6,000円を差し引いた額の振り込みとなります。(これまでは4,000円)